

東京都立大学における授業評価の経年的な改善状況

都市環境学部 教授

星 旦二

1. はじめに

大学のあり方は、大きな転換期を迎えている。学校教育法の改正により、外部認証機関による大学の評価が義務づけられるとともにそれらの結果を公表することになっている。授業評価もほぼ同様な状況にあると言えよう。

東京都立大学における学生から見た授業評価は、1999年度より自己点検評価委員会が中心となって実施されている。ここでは、2001年に導入した「授業評価結果を個別教員に還元し改善に生かすシステム」の二年後の成果をみるために2003年に実施した授業評価結果を中心に報告したい。個別教員に評価結果を還元する手法は、学生から見た教員への授業に対する評価結果の相対的な位置づけを図示し、教員自身が自己認識することにより、改善すべき自分の課題を明確にして、その後の授業改善に役立てる基礎資料となることをねらったものである。ここでは、この間のプロセスの特性とともに、2004年までの二年後の授業改善成果を明確にすると共に、今後の方向性を展望したい。



2. 調査対象と結果還元内容

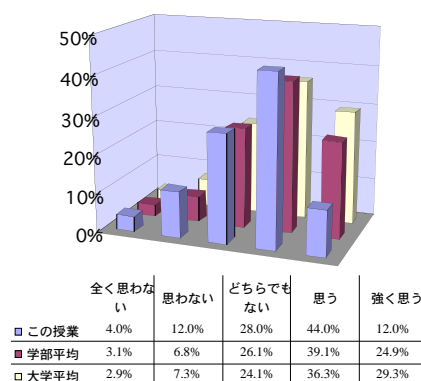
2001年度後期に、東京都立大学の全教員に対し自分自身の授業に関する授業について自己申告による評価を実施した。同時に、東京都立大学の常勤教員全員が担当する各授業に対する学生から見た授業評価を実施した。述べ10,989名の学生による各授業の評価票を、学部別、個別教員別に分析し、分析した結果を学部とともに、個別教員へ結果を図示して還元した。

個別教員に還元した内容は、独自に開発したポジショニング技法を用いた。この技法のらいは、個別教員が担当する授業に対する学生から見た評価結果を、全学別、学部別にみた分布と相対的に比較でき、同時に視覚的に理解でき易いように工夫したものである。つまり教員自分の評価結果が、どこに位置するのかを視覚的に明示する手法である。

図に示した事例は、設問の一つである、学生から見た「私は、この授業を受講して満足した」

私は、この授業を受講して満足した

私は、この授業を受講して満足し



に関する、個別特定教員と、学部平均、全学平均別に見た分布を示している。この教員の学生から見た授業評価結果は、全学ないし学部よりも相対的に見て、やや低い評価であることが理解出来やすいものと考えられる。

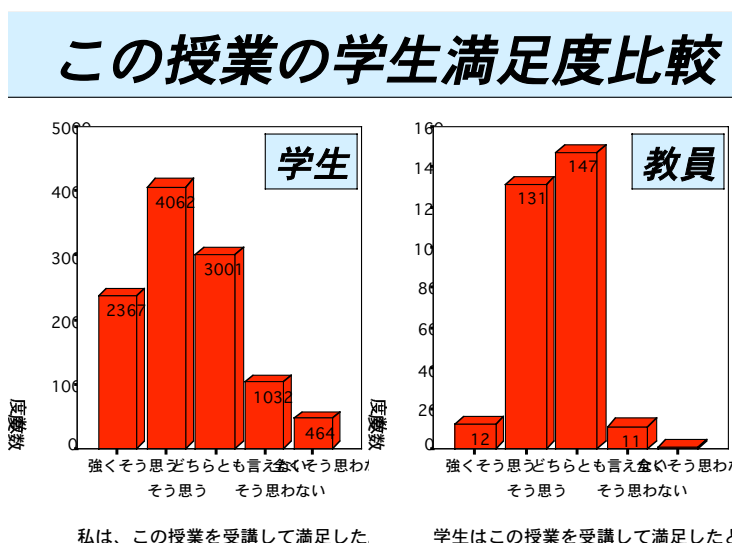
2003年にも後期二月に非常勤教員を含む全学の各講義に関する授業評価を実施し、述べ29,922名の学生による評価票を回収し、この二年間の改善度を学部別に分析した。

3. 調査結果

ここでは、3-1.教員と学生からみた授業評価の相対比較とともに、3-2.学部別に見た学生からみた授業評価結果の経年的に見た改善度について述べる。

3-1.教員と学生からみた授業評価の相対比較

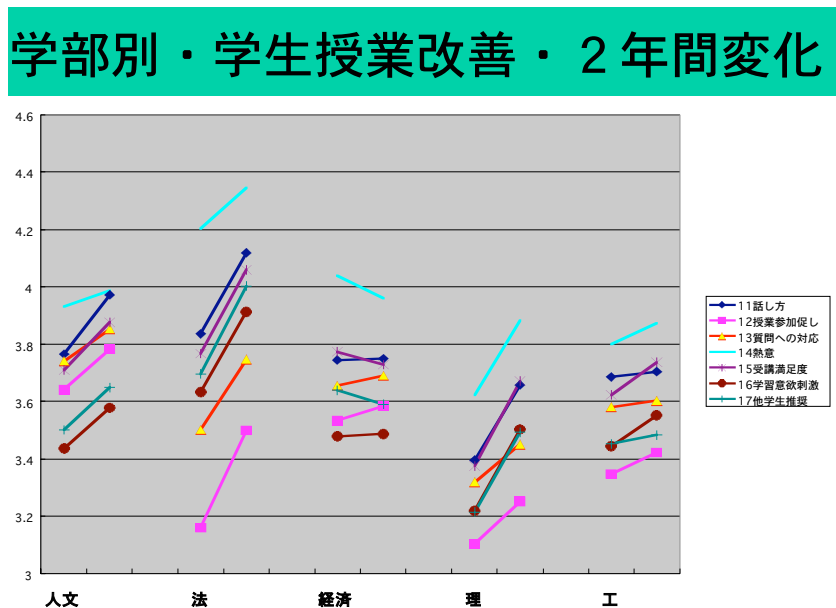
授業に関する評価を教員にも自己申告で答えて頂いた。図に示したのは、設問の一つである学生が答える設問「私は、この授業を受講して満足した」に対して、教員が「満足したと思う」という自己評価した分布と比較して示したものである。全般的に見て、教員から見た授業評価よりも、学生からみた授業評価が相対的に見て高く評価されている傾向が示された。教員の目標設定が相対的に高い可能性があるものの、学生からみた授業評価が相対的に高く評価されていることが明らかになった。



3-2.学部別に見た学生からみた授業評価結果の経年的に見た改善度

2001年から2003年までの二年間における学生から見た授業評価の五つの選択肢（5強くそう思う、4そう思う、3どちらとも言えない、2そう思わない、1全くそう思わない）を各設問別に得点化し、各項目毎に得点の平均値を求め、二年間の改善度の変化を、各設問別、学部別に分析し、その改善度を図示した。

全学的に改善傾向を見ると、経済学部を除き、学生から見た授業に対する評価は、かなり大きく改善している事が明らかになった。とくに法学部と人文学部、理学部の改善度が際だって高いことが明らかになった。



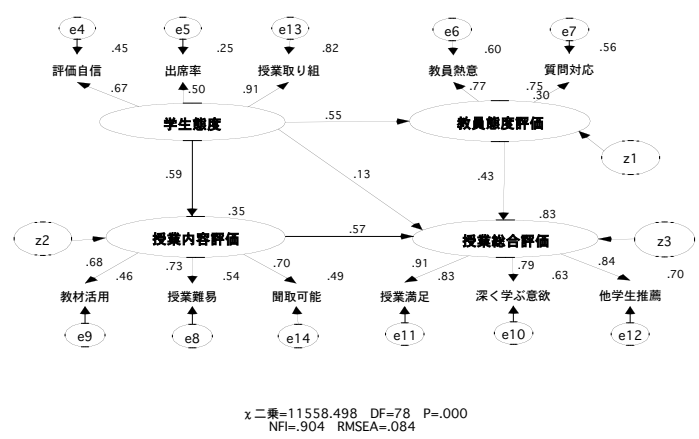
3-3.学生から見た授業評価結果の総合的分析

2003年に実施した学生から見た授業評価 29,922名分を対象に、授業評価の総合的な分析を、共分散構造分析によって性別に分析した。

2004 授業評価・全体構造

探索的因子分析に基づき四つの潜在変数を抽出した後で、共分散構造分析により、相互関連性を総合的に分析した。

学生の授業出席と共に、授業に主体的な取り組みと関連する「学生態度」（「」は潜在変数を示す）が基本となって、教員の熱意や質問と関連する「教員対応」に影響するとともに、学生から見た「授業内容評価」にも少々影響し、結果的に、授業の満足感、深く学ぶ意欲、それに他の学生に推薦することと関連する「授業総合評価」を大きく規定することが明らかになった。このモデルの適合度は高く、このモデルによって男女共に「授業総合評価」の約8割が説明できる事が明らかになった。



総合的に見た授業評価を上げていくためには、学生の主体的な授業参加意志や態度と共に、教員の熱意ある対応とともに質問への適切な対応が大きな意義を持つ可能性が示唆された。

4. 今後の展望

4-1. 評価結果の公表

東京都立大学の学生から見た授業に対する評価は、外国での評価得点と対比しても遜色のないレベルを保持している可能性が示唆された。

一方、教員との相対比較でも高く評価されていただけでなく、経年的に見て、ほとんどの学部では大きく改善していることが明らかになった。

必ずしも改善しなかった学部では、大学改革を契機として教員の転職が目立ったことが、大きな理由の一つで有る可能性が示唆された。このような東京都立大学で実施され改善していった授業評価のシステムや改善していった成果を外部に公表していくことも今後の課題である。

先進国の授業評価は、個別の評価結果を外部に公表するシステムが導入されている。図に示したのは、ニューヨーク大学での経済学部 Gateley delmot 教員が担当したエネルギー経済学の講義に対する受講学生 50 人の中で 40 人が評価した結果が示されている。個別の評価項目は東京都立大学が採用した項目とほぼ類似している。この授業を後輩に薦めるポイントについても記載されている。

このような個別授業の結果を公開し、今後の授業改善に生かしていくシステムを導入することは、今後我が国でも導入すべきシステムの一つであろう。

4-2.今後の展望

評価学を体系化した Stephan Isaac は、「The purpose of evaluation is not to prove to improve」と述べ、改善の必要性を強調している。評価の真の目的は改善なのである。

東京都立大学、自己点検評価委員会で構築されつつあった授業評価システムは、首都大学東京FD委員会に引き継がれ、より発展したシステムとして継続されている。

2003年度からの自己点検評価委員会では、非常勤講師が担当する講義とともに大学院を含めた授業評価が実施され、何れも優れた評価結果が得られている。その概要は、「東京都立大学・第七回・自己点検評価報告書」に報告されているので参照されたい。

最後になりましたが、2001年度からの自己点検評価委員会において献身的かつ情熱的にリーダーシップを発揮されました浅倉むつ子委員長（現在・早稲田大学大学院教授）や、度重なるワーキング会議で尽力くださいました多くの委員の方々の協働作業とともに、事務職の多大なる業務に対して深く感謝いたします。このような体制がなければ、継続した改善度を分析することは出来ませんでした。

私は、この間合計六年間にわたり自己点検評価委員会の委員として関わらせて頂き、多くの学びを得る機会があったことに対して、こころより感謝いたします。ただ、組織体制とともに予算体制が充分ではなく、個別教員依存型の体制を脱却できにくい傾向があったように感じています。

今後とも、教員や学生と共に事務職とも協働しながら、よりよい授業システムづくりプロセスを重視し、相互の英知を結集して更に優れた授業システムを改善していけるようにしていきたいと考えています。

NYU 授業評価

Example

COURSE TITLE:	ECONOMICS OF ENERGY
COURSE CODE:	V31.0326001
INSTRUCTOR :	GATELY, DERMOT
DEPARTMENT:	Economics
TERM:	Fall 2004
NUMBER OF STUDENTS ENROLLED IN COURSE:	50.00
NUMBER OF STUDENTS WHO RESPONDED:	40.00
COMMENTS:	"Gately is a very knowledgeable and passionate professor." "Course is not as interesting as I thought it would be. I wish the professor would incorporate the textbook more, as his lectures are not as helpful." "The professor is well informed and passionate about the subject."
SURVEY QUESTIONS	RESULT AVERAGES: 5=Excellent; 1=Poor
How would you rate the course overall?	3.87
How clear were the objectives of the course?	3.80
How well were these objectives achieved?	4.05